

## 令和7年度 田野畑中学校林業体験学習を実施しました

令和7年7月1日

令和7年7月1日、2年ぶりとなる田野畑中学校1年生を対象とした林業体験学習を実施しました。

当初は、遊々の森での保育作業や測樹体験の実施を予定していましたが、天候不順のため野外での活動を取り止め、田野畑中学校において屋内での開催となりました。

前半は、「森林のはたらきと私たちの生活」と題して、身近な森林の分布状況や森林の持つ機能などについて説明し、続いて、林業の内容や木材利用の大切さについて学んでもらいながら、合わせて三陸中部森林管理署が考案したカードゲーム『ZORING（ゾーリン）』のルールを説明しました。

休み時間を挟み、後半はZORING体験をしてもらう予定でしたが、中には開始前にもかかわらず興味津々で準備を始める生徒もあり、体験中は時折笑い声が飛び交う賑やかな授業となりました。ZORINGを通して、楽しみながら森林づくりの流れを学び、森林や林業に興味を持ってもらえたようです。

生徒の皆さんからは、「田野畑村の森林率が8割も超えていることに驚いた」や「森林の働きで水を貯えたりすることなどに一つ一つ林業用語があること」などの感想があり、生徒たちの新たな発見に役立てたことは当署としても嬉しく思います。



当署は、平成26年に田野畑村と遊々の森「未来へ繋ぐ～田野畑・希望の森～」の協定を締結しており、森林整備体験等の活動を支援する取組を行っています。これまで保育作業に参加した生徒数は約300名に上ります。

遊々の森に植栽した木々は順調に生育しており、除伐等の保育作業が必要となるほどに大きく成長しました。

生徒の皆さんからも「現場に出て体を動かして（ツル切りや下刈り）みたい」と意気込みを伺えたので、来年度こそは是非保育作業を体験してもらいたいと当署職員一同願っております。

